

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月11日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2531 URL <https://www.takara.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 睦
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 宇佐美 昌和 TEL 075-241-5124
 半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 ー
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	186,556	5.7	7,786	△26.1	7,386	△33.9	5,695	△37.3
2025年3月期中間期	176,539	8.2	10,532	△15.5	11,166	△14.3	9,088	13.0

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △3,504百万円（-％） 2025年3月期中間期 22,483百万円（△14.4％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	29.40	—
2025年3月期中間期	46.55	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	476,611	287,456	49.8
2025年3月期	477,587	300,903	51.3

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 237,224百万円 2025年3月期 245,228百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	31.00	31.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	31.00	31.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2026年3月期（予想） 期末配当金の内訳 普通配当 29円00銭 創立100周年記念配当 2円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	392,000	8.1	16,200	△21.3	15,700	△29.2	11,100	△31.5	57.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2025年11月11日）公表いたしました「2026年3月期の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) Curio Bioscience, Inc.、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	197,252,043株	2025年3月期	197,252,043株
2026年3月期中間期	4,378,220株	2025年3月期	1,996,109株
2026年3月期中間期	193,679,407株	2025年3月期中間期	195,256,313株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10

○ 第2四半期(中間期)決算短信補足資料

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間の業績は、売上高は186,556百万円(前年同期比5.7%増)、売上総利益は61,642百万円(同4.9%増)、販売費及び一般管理費は53,856百万円(同11.7%増)、営業利益は7,786百万円(同26.1%減)、経常利益は支払利息や為替差損が増加したことにより7,386百万円(同33.9%減)となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、特別利益が投資有価証券売却益4,421百万円の計上などにより増加しましたが、特別損失も未稼働の受託製造にかかる設備の減損損失3,870百万円を計上したことなどにより増加し、繰延税金資産の一部の取り崩しを行いましたので5,695百万円(同37.3%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[宝酒造]

当中間連結会計期間の売上高は、前年同期と比べて、原料用アルコール等は増加しましたが、焼酎、清酒、ソフトアルコール飲料などの売上数量が減少したことなどにより減少いたしました。

以上の結果、宝酒造の売上高は57,760百万円(前年同期比6.8%減)となりました。売上原価は43,125百万円(同7.3%減)となり、売上総利益は14,635百万円(同5.4%減)となりました。販売費及び一般管理費は、運送費や広告宣伝費などが減少し12,170百万円(同5.3%減)となり、営業利益は2,465百万円(同6.0%減)となりました。

[宝酒造インターナショナルグループ]

当中間連結会計期間の売上高は、前年同期と比べて、清酒は減少したものの、ウイスキーが引き続き増加しましたので、海外酒類事業の売上高は増加いたしました。海外日本食材卸事業の売上高も、前期に新たにグループに迎え入れた企業の寄与などもあり増加いたしました。

以上の結果、宝酒造インターナショナルグループの売上高は103,889百万円(前年同期比16.8%増)となりました。売上原価は69,661百万円(同15.9%増)となり、売上総利益は34,227百万円(同18.5%増)となりました。販売費及び一般管理費は、人件費や運送費などが増加し27,568百万円(同23.2%増)となり、営業利益は6,658百万円(同2.6%増)となりました。

[タカラバイオグループ]

当中間連結会計期間の売上高は、前年同期と比べて、受託が増加したものの、試薬、機器、遺伝子医療が減少いたしました。

以上の結果、タカラバイオグループの売上高は18,794百万円(前年同期比4.9%減)となりました。売上原価は売上構成の変化の影響などにより8,230百万円(同12.5%増)となり、売上総利益は10,564百万円(同15.1%減)となりました。販売費及び一般管理費はCurio Bioscience, Inc. (以下、「Curio社」という。)の買収に関する費用およびのれん償却費を計上したことなどから12,907百万円(同7.3%増)となり、営業損失は2,342百万円(前年同期は営業利益417百万円)となりました。

[その他]

当中間連結会計期間の売上高は、前年同期と比べて、ワイン輸入販売などが引き続き増加し15,597百万円(前年同期比1.4%増)となりました。売上原価は12,905百万円(同0.8%減)となり、売上総利益は2,692百万円(同13.5%増)となりました。販売費及び一般管理費は、人件費などが増加し984百万円(同1.3%増)となり、営業利益は1,708百万円(同22.0%増)となりました。

品種別販売実績

セグメントの名称	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	対前年 増減率
品種	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
焼酎	16,926	14,953	△11.7
清酒	4,198	3,730	△11.1
ソフトアルコール飲料	23,169	22,000	△5.0
その他酒類	2,844	2,105	△26.0
本みりん	4,734	4,668	△1.4
その他調味料	4,524	4,529	0.1
原料用アルコール等	5,582	5,773	3.4
宝酒造	61,980	57,760	△6.8
海外酒類	11,213	13,164	17.4
海外日本食材卸	79,079	92,005	16.3
その他	545	553	1.4
グループ内連結消去	△1,858	△1,834	—
宝酒造インターナショナルグループ	88,979	103,889	16.8
試薬	15,405	14,272	△7.4
機器	426	402	△5.6
受託	2,274	2,546	12.0
遺伝子医療	1,652	1,573	△4.7
タカラバイオグループ	19,758	18,794	△4.9
報告セグメント計	170,718	180,444	5.7
その他	15,382	15,597	1.4
セグメント計	186,100	196,042	5.3
事業セグメントに配分していない 収益及びセグメント間取引消去	△9,560	△9,486	—
合計	176,539	186,556	5.7

(注) 販売金額には酒税を含んでおります。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における流動資産は224,183百万円となり、前連結会計年度末に比べ21,250百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が22,743百万円減少したことによるものであります。固定資産は252,428百万円となり、前連結会計年度末に比べ20,274百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が建設仮勘定の増加などにより5,319百万円、無形固定資産がCurio社を買収したことなどにより16,113百万円それぞれ増加し、投資その他の資産が1,158百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、総資産は476,611百万円となり、前連結会計年度末に比べ976百万円減少いたしました。

当中間連結会計期間末における流動負債は67,616百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,802百万円減少いたしました。これは主に短期借入金5,967百万円減少したことによるものであります。固定負債は121,537百万円となり、前連結会計年度末に比べ18,273百万円増加いたしました。これは主に長期借入金9,834百万円、固定負債のその他がCurio社の買収による条件付対価の認識などにより8,623百万円それぞれ増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は189,154百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,470百万円増加いたしました。

当中間連結会計期間末における純資産合計は287,456百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,446百万円減少いたしました。これは主に自己株式が取得により2,999百万円増加し、為替換算調整勘定が5,943百万円、非支配株主持分が5,442百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は49.8%（前連結会計年度末は51.3%）となりました。

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益8,578百万円、減価償却費5,950百万円、減損損失3,870百万円、投資有価証券売却損益4,419百万円、棚卸資産の増加2,226百万円、その他の流動資産の増加2,565百万円、法人税等の支払額4,070百万円などにより5,968百万円の収入と、前年同期に比べ239百万円の収入減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出18,791百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出6,416百万円、投資有価証券の売却による収入5,032百万円などにより18,352百万円の支出と、前年同期に比べ16,038百万円の支出増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出5,394百万円、自己株式の取得による支出2,999百万円、配当金の支払額6,050百万円、長期借入れによる収入9,951百万円などにより6,794百万円の支出と、前年同期に比べ2,341百万円の支出減少となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物に係る換算差額等を含めた当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より21,240百万円減少し54,039百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2025年5月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。

当社グループの主要セグメントの売上高は、宝酒造インターナショナルグループは海外酒類事業の伸長や、海外日本食材卸事業のM&A効果による業績の上乗せもあり、ともに前回予想を上回りますが、宝酒造では焼酎などの減少、タカラバイオグループでは世界的なライフサイエンス研究市場が引き続き低迷することが見込まれることや、日本における受託事業の新規案件獲得の未達などにより、いずれも下回る見込みです。以上の結果、当社グループ全体でも前回予想を下回る見通しです。

営業利益は、宝酒造では売上総利益が下回るものの、販売費及び一般管理費の効率的な運用により前回予想を上回り、宝酒造インターナショナルグループは、海外日本食材卸事業が競争激化と販売費及び一般管理費の増加により前回予想を下回るものの、海外酒類事業が好調に推移し、前回予想を上回る見込みです。タカラバイオグループについては、売上高の減少の影響が大きく、営業損失となる見込みです。以上の結果、当社グループ全体でも前回予想を下回る見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券や固定資産の売却等により、特別利益が増加しますが、タカラバイオグループの減損損失等による特別損失の増加や、繰延税金資産の一部取り崩しにより、前回予想を下回る見通しです。

事業セグメントの予想値の詳細につきましては、本日公表の「2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信補足資料」(PAGE10/15~13/15)をご参照ください。

※本日(2025年11月11日)、当社の連結子会社であるタカラバイオ株式会社(コード番号 4974 東証プライム市場)も、2025年5月13日の決算短信で公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。

(通期連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想(A) (2025年5月13日公表)	百万円 401,000	百万円 21,900	百万円 22,200	百万円 16,300	円 銭 83.48
今回修正予想(B)	392,000	16,200	15,700	11,100	57.43
増減額(B-A)	△9,000	△5,700	△6,500	△5,200	—
増減率(%)	△2.2	△26.0	△29.3	△31.9	—
ご参考:前期実績 (2025年3月期)	362,693	20,597	22,180	16,202	82.98

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	83,302	60,558
受取手形及び売掛金	73,319	71,939
商品及び製品	72,795	73,895
仕掛品	1,727	2,141
原材料及び貯蔵品	7,811	6,906
その他	7,217	9,535
貸倒引当金	△739	△794
流動資産合計	245,433	224,183
固定資産		
有形固定資産	123,610	128,929
無形固定資産		
のれん	25,283	30,096
その他	16,378	27,679
無形固定資産合計	41,662	57,775
投資その他の資産		
投資有価証券	34,467	35,648
その他	32,474	30,135
貸倒引当金	△60	△61
投資その他の資産合計	66,880	65,722
固定資産合計	232,154	252,428
資産合計	477,587	476,611
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,067	23,841
短期借入金	12,315	6,347
未払法人税等	2,742	3,706
引当金	3,826	3,293
その他	30,468	30,426
流動負債合計	73,419	67,616
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	30,689	40,524
退職給付に係る負債	8,345	8,160
その他	49,228	57,852
固定負債合計	103,264	121,537
負債合計	176,683	189,154

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	2,804	2,804
利益剰余金	180,449	180,092
自己株式	△2,103	△5,103
株主資本合計	194,376	191,019
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,513	17,834
繰延ヘッジ損益	△4	0
為替換算調整勘定	34,204	28,260
退職給付に係る調整累計額	138	110
その他の包括利益累計額合計	50,851	46,205
非支配株主持分	55,675	50,232
純資産合計	300,903	287,456
負債純資産合計	477,587	476,611

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	176,539	186,556
売上原価	117,794	124,913
売上総利益	58,745	61,642
販売費及び一般管理費	48,212	53,856
営業利益	10,532	7,786
営業外収益		
受取利息	408	343
受取配当金	492	532
その他	406	325
営業外収益合計	1,306	1,201
営業外費用		
支払利息	311	707
為替差損	95	511
その他	266	382
営業外費用合計	672	1,601
経常利益	11,166	7,386
特別利益		
投資有価証券売却益	1,973	4,421
その他	834	741
特別利益合計	2,808	5,162
特別損失		
減損損失	108	3,870
その他	147	99
特別損失合計	256	3,970
税金等調整前中間純利益	13,718	8,578
法人税、住民税及び事業税	4,688	5,185
法人税等調整額	△671	105
法人税等合計	4,016	5,291
中間純利益	9,702	3,287
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	613	△2,407
親会社株主に帰属する中間純利益	9,088	5,695

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	9,702	3,287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,486	1,320
繰延ヘッジ損益	△6	4
為替換算調整勘定	18,182	△8,071
退職給付に係る調整額	91	△44
その他の包括利益合計	12,781	△6,791
中間包括利益	22,483	△3,504
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	18,658	1,048
非支配株主に係る中間包括利益	3,825	△4,552

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	13,718	8,578
減価償却費	4,997	5,950
減損損失	108	3,870
のれん償却額	696	1,559
引当金の増減額(△は減少)	△522	△457
受取利息及び受取配当金	△900	△875
支払利息	311	707
固定資産除売却損益(△は益)	△693	△618
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,973	△4,419
売上債権の増減額(△は増加)	477	184
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,339	△2,226
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,913	△2,565
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,494	238
未払酒税の増減額(△は減少)	△1,603	601
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,594	170
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△3,499	△1,354
その他	△20	260
小計	7,944	9,605
利息及び配当金の受取額	950	904
利息の支払額	△364	△470
法人税等の支払額	△2,322	△4,070
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,207	5,968
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,433	△5,962
定期預金の払戻による収入	3,736	6,959
有形及び無形固定資産の取得による支出	△5,838	△18,791
有形及び無形固定資産の売却による収入	747	1,358
投資有価証券の売却による収入	2,790	5,032
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△6,416
その他	△316	△533
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,313	△18,352
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△12	△768
長期借入れによる収入	100	9,951
長期借入金の返済による支出	△5,163	△5,394
社債の償還による支出	△5,000	—
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	8,000	—
自己株式の取得による支出	△0	△2,999
配当金の支払額	△5,654	△6,050
非支配株主への配当金の支払額	△813	△891
リース債務の返済による支出	△591	△633
その他	△1	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,136	△6,794
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,986	△2,112
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△255	△21,290
現金及び現金同等物の期首残高	90,184	75,280
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	49
現金及び現金同等物の中間期末残高	89,929	54,039

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

連結の範囲の重要な変更

当中間連結会計期間において、タカラバイオ株式会社(当社の連結子会社)の100%子会社であるTakara Bio USA Holdings Inc.がCurio Bioscience, Inc.の株式を取得したことにより、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イン ターナショ ナルグルー プ	タカラバイ オグループ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	61,475	88,752	19,757	169,985	6,554	176,539	—	176,539
セグメント間の内部 売上高又は振替高	504	227	0	732	8,827	9,560	△9,560	—
計	61,980	88,979	19,758	170,718	15,382	186,100	△9,560	176,539
セグメント利益	2,623	6,488	417	9,528	1,399	10,928	△395	10,532

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物運送事業、ワイン輸入販売、不動産賃貸事業などであります。
2. セグメント利益の調整額△395百万円は、セグメント間取引消去9百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△404百万円であります。
3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「タカラバイオグループ」セグメントにおいて、減損損失108百万円を計上しております。

II 当中間連結会計期間(自2025年4月1日 至2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イン ターナショ ナルグルー プ	タカラバイ オグループ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	57,080	103,711	18,794	179,587	6,968	186,556	—	186,556
セグメント間の内部 売上高又は振替高	679	177	0	857	8,629	9,486	△9,486	—
計	57,760	103,889	18,794	180,444	15,597	196,042	△9,486	186,556
セグメント利益又は損 失(△)	2,465	6,658	△2,342	6,781	1,708	8,489	△702	7,786

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物運送事業、ワイン輸入販売、不動産賃貸事業などであります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△702百万円は、セグメント間取引消去△75百万円、事業セグメン

トに配分していない当社の損益△626百万円であります。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「タカラバイオグループ」セグメントにおいて、減損損失3,870百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「タカラバイオグループ」セグメントにおいて、空間解析用研究試薬の開発・製造・販売を行う Curio Bioscience, Inc. の全株式を取得したことにより、のれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間においては、6,337百万円であります。なお、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。